


| | | | | |
|---------------|---|------|-----|---|
| ふりがな 氏名 | ないとう たかし | 都道府県 | 福岡県 |  |
| | 内藤 崇 | | | |
| 所属/肩書 | 中外製薬株式会社 フライマリーユニット九州北営業部 | | | |
| 私のESD活動 | 担当医療機関への疾患啓発活動の推進により、骨粗鬆症による骨折発生数の減少を目指している | | | |
| ESD活動を表すキーワード | 気づき | 啓発 | 健康 | |

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

<健康な地域社会の創生を目指した疾患啓発活動>

私は民間の製薬企業でMRとして働いております。MR(Medical Representative:医薬情報担当者)は医薬品情報の提供や収集を行う職種です。私の行ったESD活動は、疾患の啓発活動です。対象とした疾患は骨粗鬆症です。骨粗鬆症は主に高齢者の方で発症し、骨が脆くなり骨折が起こりやすくなる疾患です。骨折を起こすと、痛みを感じたり日常生活に不自由をきたすのは勿論のこと、寝たきりになったり、生存率が低下してしまいます。薬を飲むことで、骨が丈夫になり、ある程度骨折を予防することができますが、それだけでは十分ではありません。薬を飲んでいても、転倒すると骨折してしまうのです。転倒が原因で骨折をする人が後を絶たない、そういった問題が解決できていない。これが今の日本の現状です。骨折をして寝たきりになると、介護も必要になります。しかし今後高齢化が進むにあたり、2025年には介護人材が約30万人不足すると言われております。転倒を予防し、疾患知識を向上させることで骨折する人の数を減らすことは、高齢化が進む日本で健康な社会を築くために非常に重要な活動だと感じました。そこで私は担当する医療機関や薬局で転倒予防や疾患啓発の冊子やポスターの設置をお願いしました。結果として、骨粗鬆症の方が疾患に対してどのくらい興味をもったか、また骨折の発生数が減少したか等のデータはないのですが社内表彰や業界誌で取材してもらいました。この活動を全国に広げていくことで骨折を起こす患者さんが減り、医療費・介護費の抑制、高齢者が健康に過ごせる健やかな社会が実現できると考えています。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

多くの人と積極的に出会い、意見を聞き、いろいろな視点から物事を考えることでESDの可能性を探っていきたいです。多くの意見に触れるために、第1回参加者と第2回参加者をつなぐような場を作っていきたいと考えています。自身のESD活動の今後の展開としては、現在までは骨粗鬆症という疾患限定だったが、他の疾患においても応用していきたい。また、本コンファレンスではできる限り多くの参加者と話し合い、日本の現状をさまざまな側面から把握したいと考えております。そして社会が抱える問題に気づき、解決に向けて動いていきたい。本コンファレンスの参加者の皆さんは分野は違えど、より良い明日を目指すという目標は共通していると思います。志の高い参加者の方が本気で意見交換することで、きっとお互いの活動に良い影響を与えることができると思います。